

三菱商事ライフサイエンス株式会社、リミニストリーのサポートへの切り替えにより、デジタルトランスフォーメーションとビジネス成長の次のステージへ加速

大手食品素材メーカーが JD Edwards ソフトウェアのサポートを最適化することで、戦略的なビジネスの取り組みと海外展開を推進

2021年10月28日、東京 - エンタープライズソフトウェア製品とサービスを世界的に提供する、Oracle および SAP ソフトウェア製品の第三者保守サポートの業界リーダーで、Salesforce のパートナーである Rimini Street, Inc. (Nasdaq: RMNI) は、本日、三菱商事株式会社の食品産業グループの食品原料メーカーである三菱商事ライフサイエンス株式会社が、JD Edwards アプリケーションのサポートをリミニストリーに切り替えたことを発表しました。ベンダーのサポートからリミニストリーに切り替えたことで、同社は保守コストを大幅に削減し、社内のリソースを戦略的な取り組みに充てることができるようになりました。時間、資金、人材といった重要なリソースを解放することで、三菱商事ライフサイエンス株式会社は、今後5年から10年に向けたデジタルトランスフォーメーションの取り組みへの投資を開始し、国内外でのさらなる事業拡大への足がかりを築くことができます。

デジタルトランスフォーメーションを促進するためのリソースの最適化

三菱商事ライフサイエンス株式会社は、多くの市場セグメントで多角的に事業を展開している三菱商事株式会社の食品産業グループの一員であり、2019年4月に三菱商事フードテック株式会社、MC フードスベシリティーズ株式会社、興人ライフサイエンス株式会社の3社が合併して誕生しました。リモートワークや柔軟な労働環境をサポートするプロジェクト、ドキュメントのデジタル化やペーパーレス化、人工知能やビッグデータ技術の活用など、戦略的なデジタル施策によってビジネスを変革し、将来のビジネスニーズをサポートするため、今後5~10年計画に注力しています。

この改革の一環として、同社はこれらの新しいデジタルの取り組みの計画と実施を開始するための予算を確保する必要がありました。この全社的な取り組みを支援するために、IT部門は、作業指示、資材所要量計画、注文管理などの生産管理に使用している JD Edward システムを見直して評価し、高いサポートコストと引き換えに現在得られている ROI を評価しました。同社は、現在の安定したバージョンのソフトウェアをできるだけ長く使い続けたいと考えており、将来のアップグレードに価値を見出していませんでした。さらに、同社はベンダーがシステムに対して十分なサポートを提供していないと感じていました。つまり、業務上の重要な問題を引き起こすかもしれない不具合が頻繁に発生しているにもかかわらず、その不具合に対処するための質の高いサポートを受けられていませんでした。三菱商事ライフサイエンス株式会社においては、わずかなダウンタイムでも、会計、生産、販売、購買、在庫管理などの事業活動に深刻な影響を及ぼします。三菱商事ライフ

サイエンス株式会社は、これらの問題に対処するためのアプローチを模索した結果、リミニストリートにたどり着きました。

「当社では、会計、生産、販売、購買、在庫管理など、多くの重要な業務分野で JD Edwards を使用しており、一瞬でもダウンすると事業活動に重大な影響を与えてしまいます。これまでは、当社のビジネスを停止させるような重要なソフトウェアの問題に対するベンダーのサポートは満足できるものではありませんでした。当社が必要とする品質のサポートと、プラットフォームへの投資の最適化の両方を手に入れる方法を模索していたところ、リミニストリアートの第三者保守サポートを知りました。」と、三菱商事ライフサイエンス株式会社の最高情報責任者(CIO)兼情報システム部長の服部信也氏は述べています。「評価を開始してから約半年でリミニストリートへの切り替えを決断しました。今回の切り替えで得られたリソースは、海外展開を含む当社の成長への投資を目指し、リミニストリートと緊密に連携しながら、将来に向けた当社独自の IT ロードマップを構築していきます。」

迅速な対応とワールドクラスのサポート

リミニストリアートの他のクライアントと同様に、三菱商事ライフサイエンス株式会社は、柔軟でプレミアムレベルのエンタープライズソフトウェアサポートモデルの恩恵を受けています。これには、すべての重要な (PI) 問題に対して 10 分以内の応答時間を保証する業界最高水準のサービスレベルアグリーメント (SLA) が含まれます。また、すべてのクライアントには、クライアントの特定のエンタープライズソフトウェアにおいて平均 20 年の経験を持ち、機能的および技術的なエンジニアのチームに支えられたプライマリサポートエンジニア (PSE) が割り当てられます。

「これまでのソフトウェアベンダーは、サポートを依頼してもすぐに対応してくれないことが多かったです。」と、三菱商事ライフサイエンス株式会社の情報システム部グループマネージャーの吉崎洋平氏は述べます。「リミニストリートでは、より質の高いサービスを受けることができ、問い合わせに対しても真摯に対応してくれ、対応も早くなりました。」

日本リミニストリート株式会社 代表取締役社長の脇阪順雄は、「三菱商事ライフサイエンス株式会社様は、日本の企業がコストを最適化し、ERP への投資を最大限に活用することで、ビジネスの成長と繁栄に役立つデジタルトランスフォーメーションへの道を切り開いている事例です。」と述べています。「当社との提携により、保守サポートのコストを大幅に削減し、より戦略的なビジネスにリソースを振り向けることができるようになりました。我々は、競争力と成長を促進するための IT ロードマップのコントロールを取り戻せるよう、三菱商事ライフサイエンス株式会社様を引き続きサポートしてまいります。」

リミニストリートについて

リミニストリート社 (Rimini Street, Inc. <Nasdaq: RMNI>) は、Russell 2000® 企業であり、エンタープライズソフトウェア製品およびサービスのグローバル・プロバイダーであり、Oracle および SAP ソフトウェア製品の主要な第三者保守サポート・プロバイダーであり、Salesforce のパートナーでもあります。当社は、高品質で応答性の高い、統合されたアプリケーションマネジメントおよびサポートサービスを提供することで、エンタープライズソフトウェアのライセンスが大幅なコスト削減、技術革新のためのリソースの解放、より良いビジネス成果の達成を可能にします。これまでに、Fortune 500、Fortune Global 100、中堅企業、公共部門

など、幅広い業界の 4,200 以上の組織が、信頼できるアプリケーション・エンタープライズ・ソフトウェア製品およびサービスのプロバイダーとしてリミニストリートを利用しています。詳細については、
<http://www.riministreet.com>、Twitter では@riministreet をフォローし、Facebook や LinkedIn ではリミニストリートをご覧ください。

将来見通しに関する記述

本プレスリリースには、過去に関する事実ではなく、1995 年米国民証券訴訟改革法のセーフハーバー規定に定義する将来見通しに関する記述が含まれています。通常、将来見通しに関する記述には、「かもしれない」、「はずだ」、「だろう」、「計画する」、「意図する」、「予知する」、「考える」、「推定する」、「予測する」、「可能性」、「思われる」、「求める」、「継続する」、「将来」、「～する」、「期待する」、「見通し」などの単語や、その他類似した語句や表現が使用されます。これらの将来見通しに関する記述には、将来の出来事、将来の機会、グローバルな展開やその他の成長のための取り組みに対する当社の期待や、そうした取り組みに対する当社の投資に関する記述が含まれますが、これらに限定されるものではありません。これらの記述は、様々な仮定および経営陣の現在の期待に基づくものであり、実際の業績の予測ではなく、また歴史的事実の記述でもありません。これらの記述は、リミニストリートのビジネスに関連する多くのリスクおよび不確実性に左右されるものであり、実際の結果は大きく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性としては、次のもの（但しこれらには限定されない）が挙げられます。当社の信用枠の継続的な債務返済義務、財務制限条項および業務制限条項が当社の事業に与える影響および関連する金利リスク、COVID-19 のパンデミックとそれに関連する経済的影響が当社の事業に与える業務的、財務的影響、COVID-19 のパンデミックに対応する政府当局、顧客または他者の対策。当社の事業または当社の現在および将来の顧客の事業を混乱させる破局的な出来事。インフレや金利を含むリミニストリートが事業を展開するビジネス環境の変化。リミニストリートが活動するビジネス環境における変化（リミニストリートが活動する業界に影響を与えるインフレや金利、一般的な財務、経済、規制、および政治的な状況などを含む）。既存訴訟、政府当局による調査、または新規訴訟における不利な展開。好条件で追加のエクイティ又はデットファイナンスによる資金調達の必要性および可能性と当社が成長するための取り組みとして、投資の増加に資金を提供するために、事業からキャッシュフローを生み出す能力。当社の新規信用枠を含む流動性の基準を満たす現金および現金同等物の充足性。財務報告に係る内部統制の有効なシステム維持する能力、およびワラントの会計処理に関連するものを含む内部統制の重要な弱点を修正する能力。税金、法律、および規制の改正。競合製品と価格設定。増益管理の困難性。近い将来に展開することが期待されている製品およびサービスに追加して、直近に発表した製品およびサービス（Application Management Services (AMS)、Rimini Street Advanced Database Security および Salesforce Sales Cloud 並びに Service Cloud 製品に関するサービス等を含む）の顧客の採用。リミニストリートの経営陣の終任。リミニストリートの株式の長期的な価値の不確実性。リミニストリートが 2021 年 8 月 4 日に証券取引委員会に提出したリミニストリートの Form 10-Q による四半期報告書の「Risk Factors」に記載しているリスク事項、リミニストリートの将来における Form 10-K による年次報告書、Form 10-Q による四半期報告書、Form 8-K による現在の報告書および適宜それら事項についてリミニストリートが米国証券取引委員会に提出するその他の報告書によって更新される事項。さらに、将来見通しに関する記述は、本プレスリリースの発表時点でのリミニストリートの将来の事象に関する期待、計画または予測、および考えが示されています。リミニストリートは、後発事象や今後の進展がリミニストリートの評価を変える原因になると予想しています。ただし、リミニストリートは、これらの将来見通しに関する記述を将来のある

時点で更新することを選択する可能性がある一方で、法律で要求されていない限り、そのような義務を明示的に否認いたします。これらの将来見通しに関する記述は、本プレスリリース発表日後の時点におけるリミニストリートの評価を表すものとして依拠されるべきではありません。

#

© 2021 Rimini Street, Inc. 無断転載を禁じます。"Rimini Street"は、米国およびその他の国におけるRimini Street, Inc.の登録商標であり、Rimini Street、Rimini Street のロゴ、およびそれらの組み合わせ、ならびにTM で表示されたその他のマークは、Rimini Street, Inc.の商標です。他のすべての商標は、それぞれの所有者の財産であり、特に明記されていない限り、リミニストリートは、そのような商標権者やここで言及されている他の企業との提携、保証、関連性を主張するものではありません。